

今月のPick Upレッスン

作曲家の想い

今月は、小学5年生の生徒さんのお話。宿題にしていた曲が終わり、次の曲を宿題に出し、全体的な流れと一緒に確認していた時のことです。その生徒さんが、とあるフレーズを指しながら、ふと、

「きっとこの部分が一番間違えちゃいけないところだと思う。」

と言ってくれました。「なぜそう思うの?」と私が聞くと、「他の部分は“p(ピアノ)”だけど、ここだけは“f(フォルテ)”って書いてあるから。」と。

その気づきを聞いて、とても感心しました。もちろん、曲によっても多少異なりますが、「強弱記号」には作曲家の意図が詰まっています。そして、確かに作曲家が一番伝えたいところには、“f”が書いてあることも多いのです。

小学5年生ともなると、音をただ弾くだけでなく、色々なことを考え弾けるようになるんだなと、とても感心したレッスンでした。



この曲弾けるようになったよ!

この曲弾けるようになったよ!



『げんこつやまのたぬきさん』
『アルプスイちまんじゃく』
『ふしぎなポケット』

よく頑張りました!おめでとう♪

教室からのお知らせ

《10月のレッスン回数》

アンダンテ・アレグロ・モデラートコース
の生徒さんへ

10月は4回レッスンです。生徒さんによりレッスンの日にちが不規則な場合もありますので、詳しくはレッスンの際にお伝えします。

ハートトーンな出来事

約束

いつもお姉ちゃんのレッスンの付き添いに来てくれる4歳の弟さん。レッスン中はお菓子を食べながら待っていてくれるのですが、この日はお母さんから「レッスが終わるまで、静かに待ってたら食べようね」と。

レッスン中、弟さんはちゃんと約束を守りとても静かに待っていてくれました。そして、お姉ちゃんのレッスンが終わると、「食べていい?」と嬉しそう♪

とても可愛らしくてなんだかほっこりとした心あたまる出来事でした。



白くまコラム

ピーマン

9月の3連休。久しぶりに千葉の実家に帰省し、家族や友人とバーベキューをしました。

バーベキューの材料は、私の姉と友人が買って来てくれたので私は甘いもの担当ということでキルフェボンでケーキを買って行きました。

たくさんのお肉に魚介。ちなみに、私はホタテが大好きです♡野菜は実家の畑で取れたナスやかぼちゃ、玉ねぎにピーマンなど。野菜はどれも食べやすい大きさに切って焼いたのですが、ピーマンまるごとタネも取らずに焼きました。以前テレビで、ピーマンはタネごと食べられるとやっていたので。初めてタネごと食べましたがとっても美味しかったです!

バーベキューのあとは花火。私の実家は本当に田舎なので大自然を満喫しながら楽しみました。少し遅れましたが夏らしいことを満喫出来てとても楽しかったです。

音楽小ばなし

引っこし好きのベートーヴェン

前回に続きベートーヴェンに関するエピソードをご紹介します。

ベートーヴェンは、22歳を目前に、生まれ育ったドイツのボンからオーストリアのウィーンに移り住んで以来56歳で亡くなるまでの間、引越しを繰り返しました。その数なんと「79回」平均すると一年に2度の引越しをしていたことになります。理由は、創作活動のために環境を変えていたのだとか。

ただ、一説にはベートーヴェンがご近所トラブルを起こして引越したという話も残っています。真相ははっきりとはわかりませんが、ベートーヴェンが無作法で気難しい性格だったと伝えられていることから、あながち嘘ということもなさそうです。

おすすめコンサート

世界丸ごとクラシック2018



「イーゾークラシックヘカモン!」を合言葉に誰もが耳にしたことのある名曲ばかりを集めたコンサート。指揮者、作曲家、ピアニストと多彩な活動をしている青島広志さんのユニークなトークとともに楽しむ演奏会です。「隣の人とお喋りしてください。眠たくなったら寝てください」など、青島広志さんのトークは本当に面白い!子どもから大人まで楽しめるコンサートです。私も聴きにいきます!是非生徒さんにも聴きに行ってください。クラシック音楽の知識が楽しく広がること間違いなし!

東京公演 2018年11月23日(金・祝) ①11:30開演 ②15:30開演@東京国際フォーラム